

稲沢市コミュニティバス運行事業 に関する調査結果報告書

令和 7 年 10 月
総務部 総務課

目次

1 調査概要	1
2 質問項目	1
3 アンケート集計結果	
・ コミュニティバス等の利用について	2
・ コミュニティバスの運行に対する考え方について	3
・ あなたご自身のことについて	4

1 調査概要

(1) 調査の目的

今後の地域公共交通のあり方を検討するため、市民のコミュニティバス運行事業に関する意向や意見などの調査を実施

(2) 調査の対象

住民基本台帳から無作為に抽出した 18 歳以上の市民 2,500 人

(3) 調査の時期

令和7年9月8日(月)から9月 30 日(火)まで

(4) 調査方法

郵送によるアンケート

(5) 回答数

1,321 票 回答率 52.8%

2 質問項目

(1) コミュニティバス等の利用について

問1 コミュニティバスやコミュニティバス接続便の利用について

問2 コミュニティバスやコミュニティバス接続便に対して見直して欲しいこと

問3 コミュニティバスやコミュニティバス接続便を利用しない主な理由

(2) コミュニティバスの運行に対する考え方について

問4 今後の物価上昇などの影響により、コミュニティバスの運行経費が増えた場合の考え方

(3) あなたご自身のことについて

問5 性別

問6 年齢

問7 お住まい

問8 日常の移動について(通勤・通学、通院、買い物)

問9 自動車運転免許証の有無

問10 公共交通機関を利用する際の路線情報の取得方法

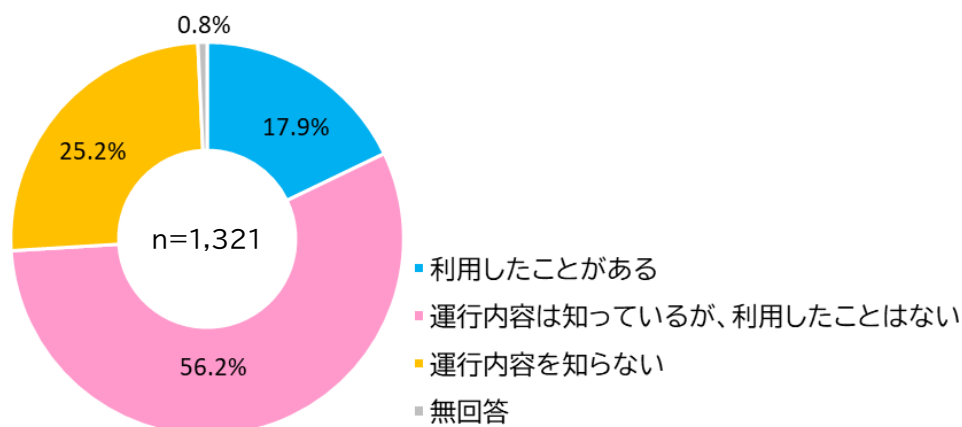
問11 WEBサイトや路線情報アプリを利用しない理由

問12 WEBサイトや路線情報アプリの利用方法に関する講習会の参加について

3 アンケート集計結果

(1)コミュニティバス等の利用について

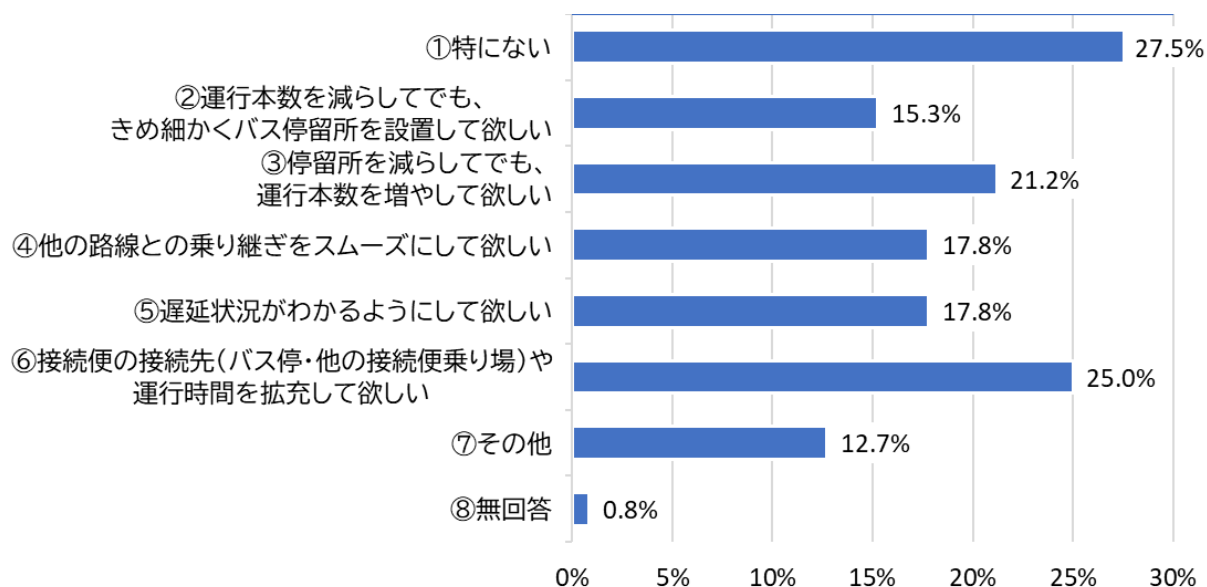
問1. コミュニティバスやコミュニティバス接続便を利用したことはありますか。



・運行内容を知っている方は 74.1%、利用したことがある方は 17.9%となっている。

問2. コミュニティバスやコミュニティバス接続便に対して見直して欲しいことはありますか。(2つまで)

※問1で「利用したことがある」と答えた人のみ回答(n=236)



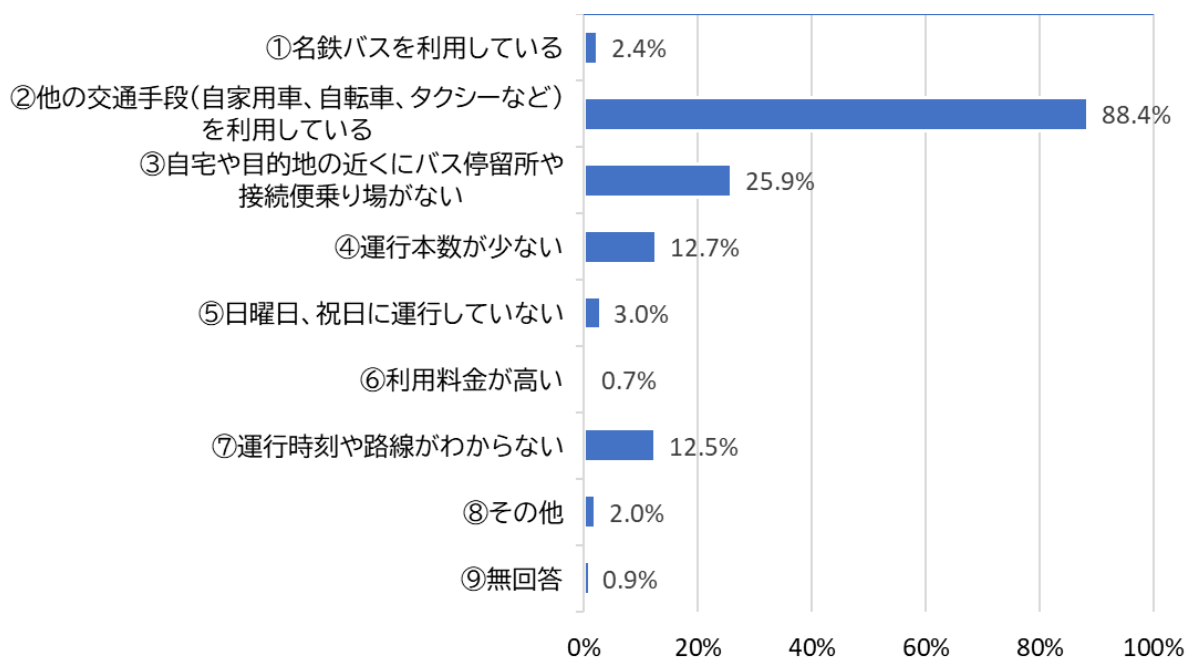
・「特にない」が 27.5%と最も多くなっている。

・コミュニティバスの見直しについては、「停留所を減らしてでも、運行本数を増やして欲しい」が 21.2%となっている。また、「その他」には「停留所を減らさずに、運行本数を増やして欲しい」という意見もあり、全体的に「運行本数」に対する要望が多く見られた。

・コミュニティバス接続便について「接続先や運行時間を拡充して欲しい」という意見が 25.0%となっている。

問3. コミュニティバスやコミュニティバス接続便を利用しない主な理由は何ですか。(2つまで)

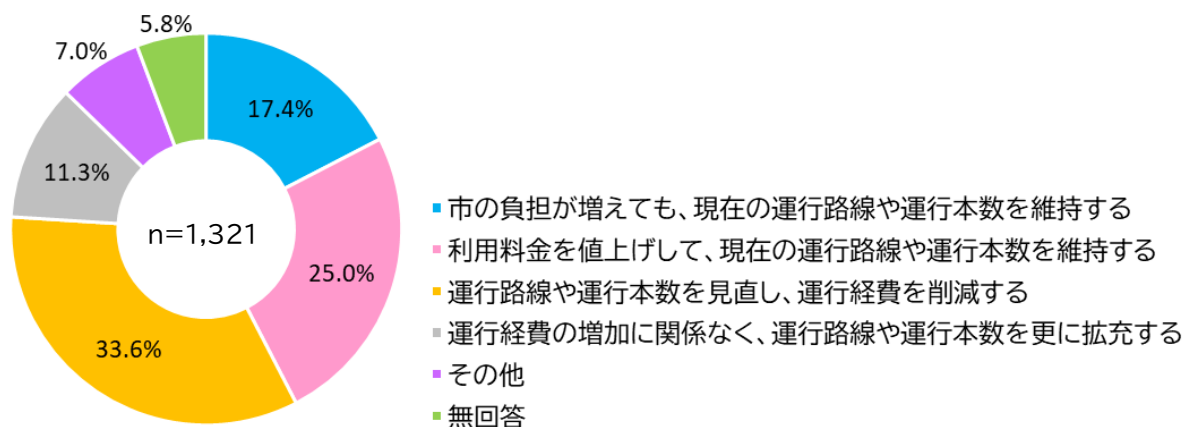
※問1で「運行内容は知っているが、利用したことはない」と答えた人のみ回答(n=742)



・利用したことがない理由について、「他の交通手段を利用している」が 88.4%と最も多く、次いで「近くにバス停留所や接続便乗り場がない」が 25.9%、「運行本数が少ない」が 12.7%となっている。

(2)コミュニティバスの運行に対する考え方について

問4. 今後の物価上昇などの影響により、コミュニティバスの運行経費が増えた場合のあなたの考え方に近いものを選んでください。

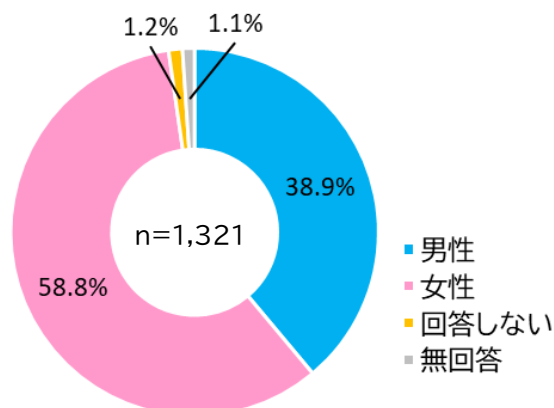


・市の負担を増やしたり、利用料金を値上げすることにより「現在の運行路線や運行本数を維持する」という意見が 42.4%を占めているが、一方で、「運行路線や運行本数を見直し、運行経費を削減する」も 33.6%となっている。

・「その他」には、「利用者を増やす工夫をする」「利用料金を値上げして運行本数を増やす」「利用が少ないバス路線は廃止して、別の事業(タクシー補助)に切り替える」など様々な意見があった。

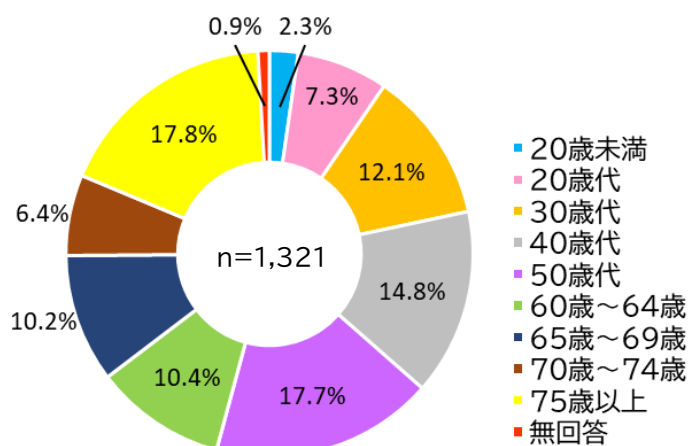
(3)あなたご自身のことについて

問5. あなたの性別を教えてください。



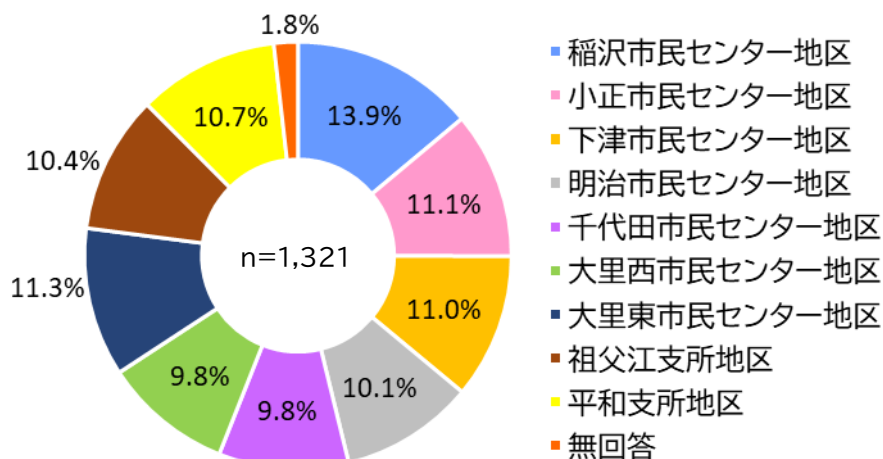
・「男性」が 38.9%、「女性」が 58.8%となっている。

問6. あなたの年齢を教えてください。



・回答者の年代に大きな偏りはない。

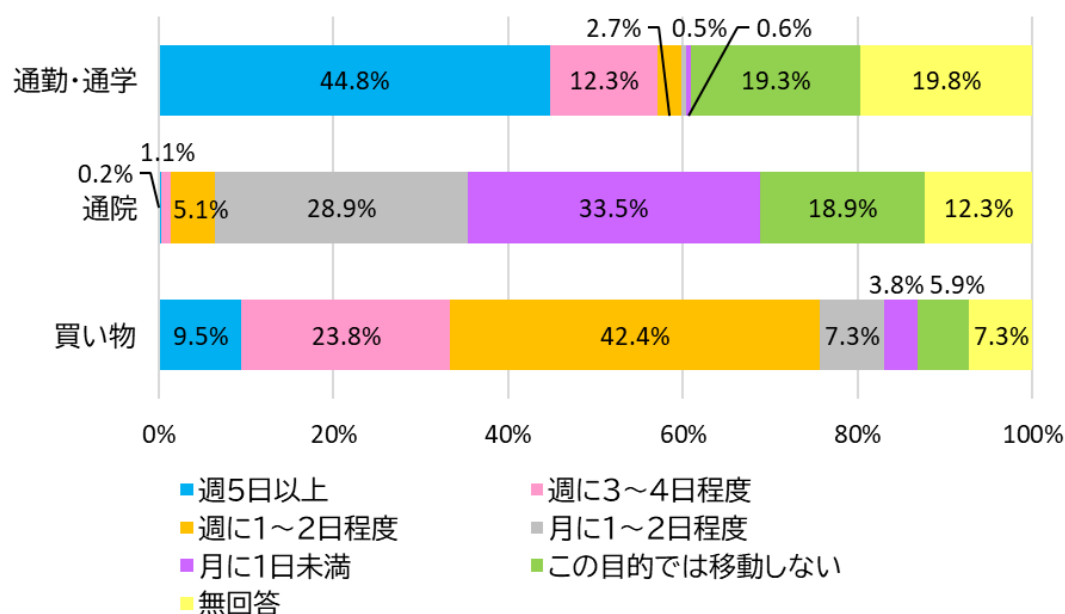
問7. あなたのお住まいを教えてください。



・回答者の地区に大きな偏りはない。

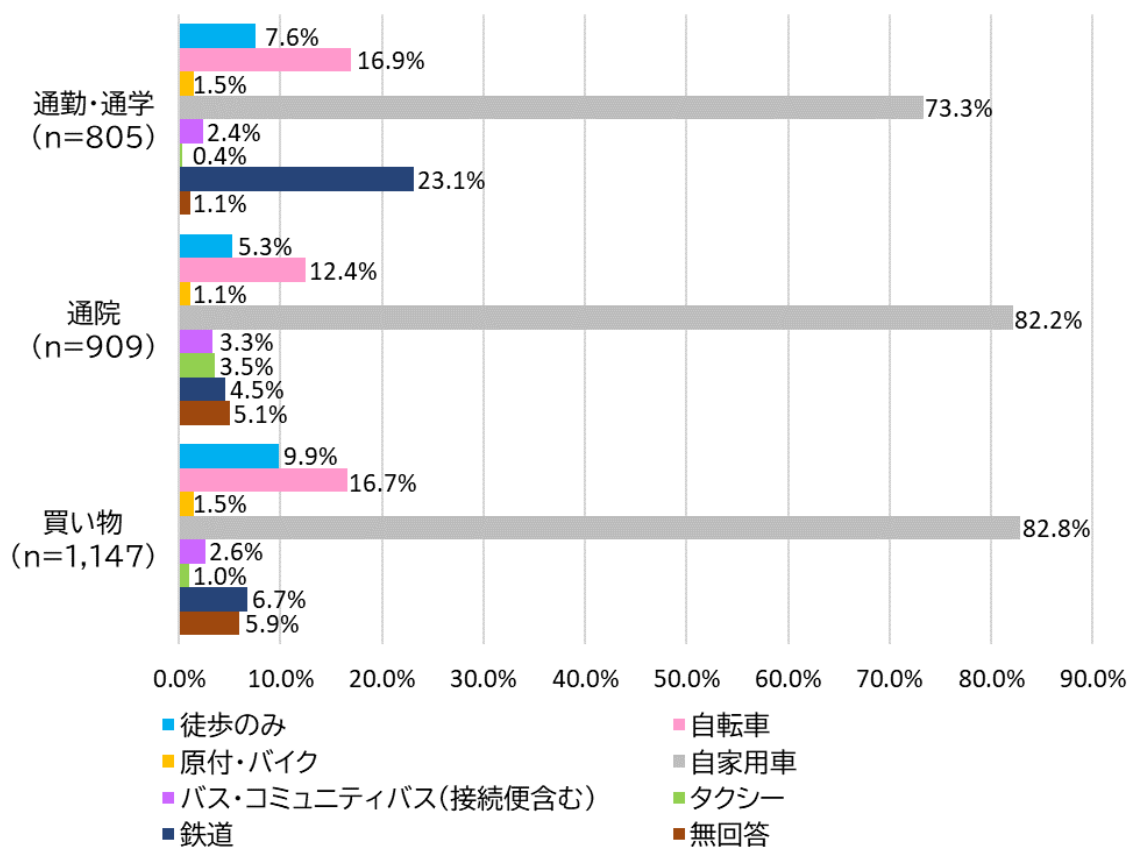
問8. あなたの日常の移動について、目的ごと(「通勤・通学」「通院」「買い物」)に概ね当てはまるものでお答えください。

【頻度(n=1,321)】



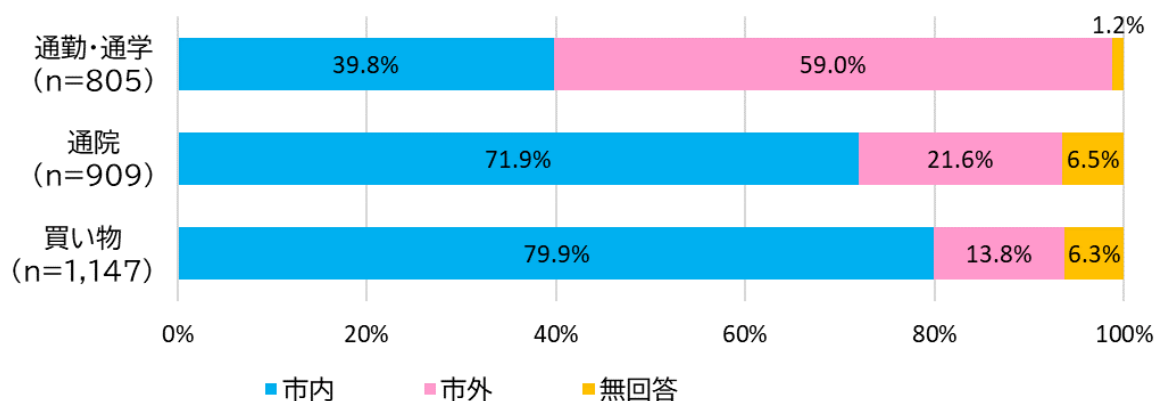
・移動頻度で最も割合が高いのは、『通勤・通学』は「週 5 日以上」で 44.8%、『通院』は「月に 1 日未満」で 33.5%、『買い物』は「週に 1～2 日程度」で 42.4%となっている。

【移動手段】



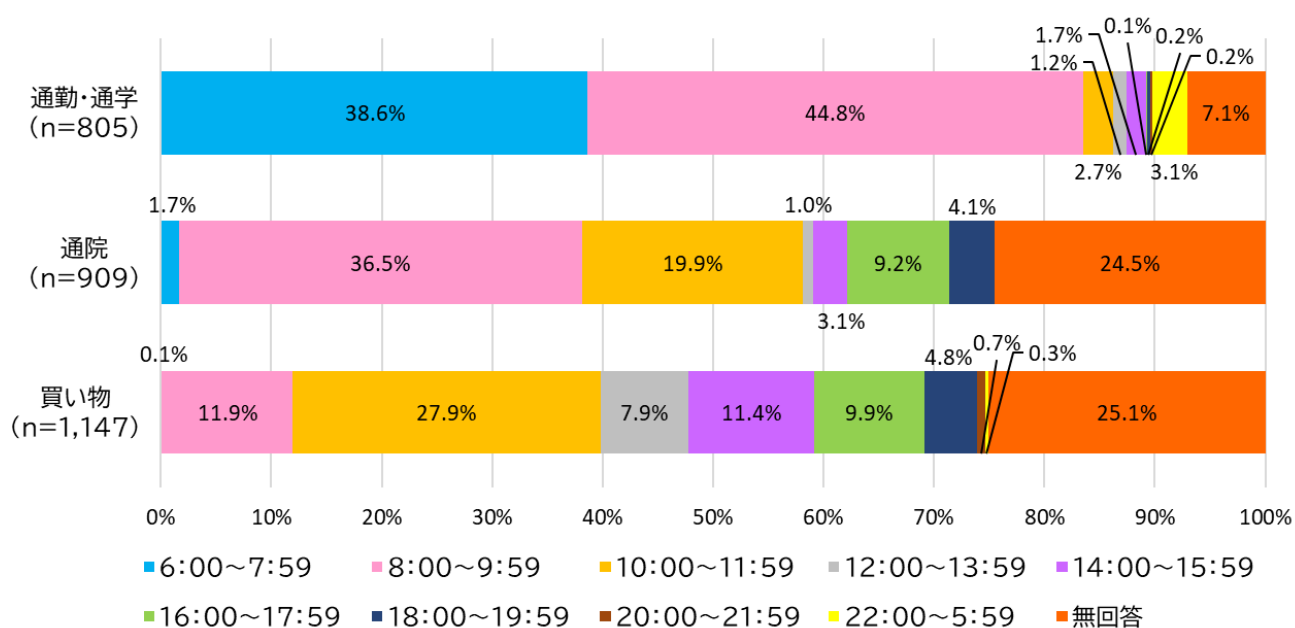
・すべての目的で「自家用車」が最も多くなっている。

【目的地】



・『通勤・通学』は「市外」への移動が 59.0%と多くなっているが、『通院』及び『買い物』はいずれも「市内」の移動が 70%以上となっている。

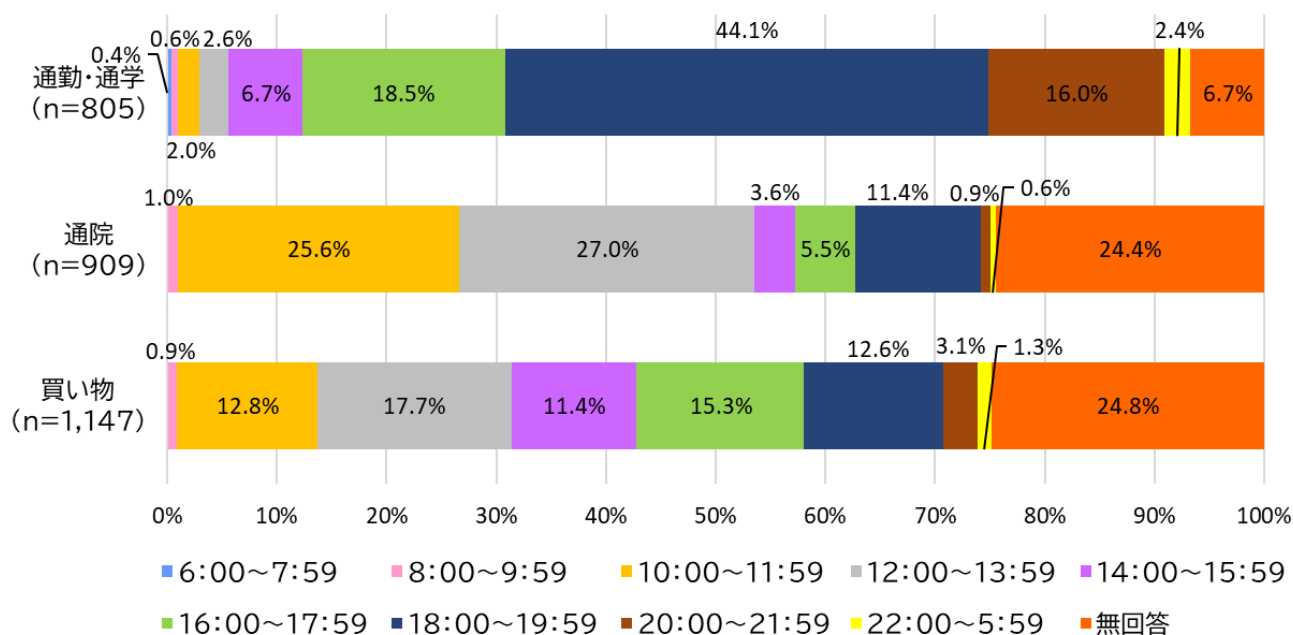
【出発時間】



・『通勤・通学』は「7:00~9:00」、『通院』は「8:00~11:00」、『買い物』は「10:00~11:00」が特に多い時間帯となっている。

・『通院』及び『買い物』は『通勤・通学』と異なり、昼過ぎから夕方にかけて出発する方も見られる。

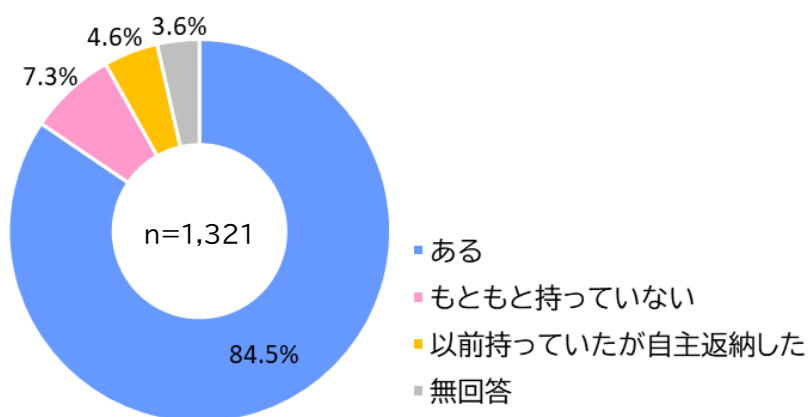
【到着時間】



・『通勤・通学』は「18:00~20:00」、『通院』は「11:00~13:00」、『買い物』は「11:00~13:00」が特に多い時間帯となっている。

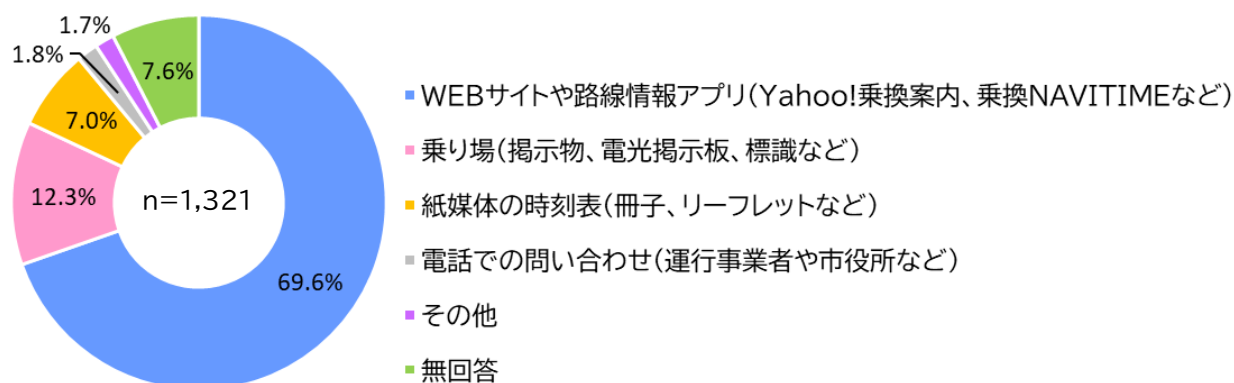
・『通院』及び『買い物』は『通勤・通学』と異なり、外出時間が「午前」又は「午後」と半日だけの方が多く見られる。

問9. あなたの自動車運転免許証の有無を教えてください。



・自動車運転免許証の有無については、「ある」が 84.5%となっている。

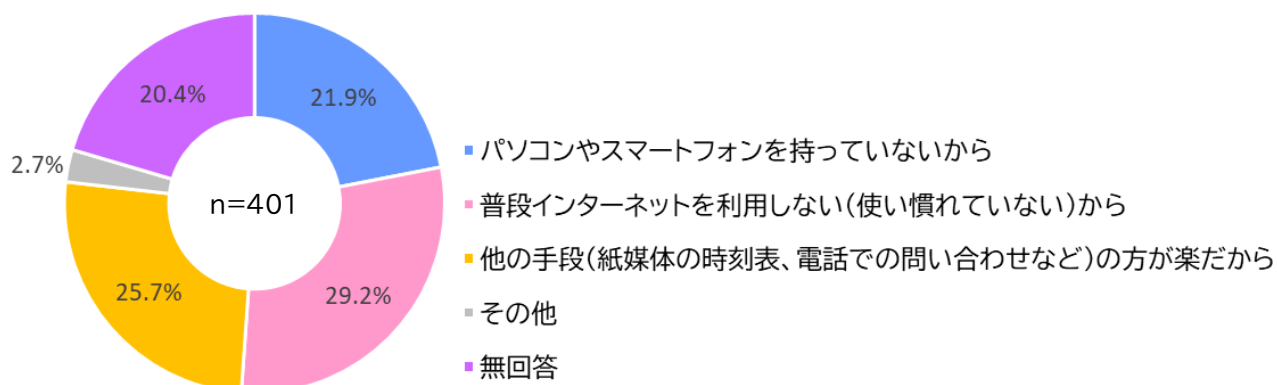
問 10. 鉄道やバスなどの公共交通機関を利用する際、路線情報（経路や時刻表など）について主にどこから情報を得ますか。



・公共交通機関を利用する際の路線情報の取得方法については、「WEBサイトや路線情報アプリ」が 69.6%、次いで「乗り場(掲示物、電光掲示板、標識など)」が 12.3%となっている。

問 11. WEBサイトや路線情報アプリを利用しない理由は何ですか。

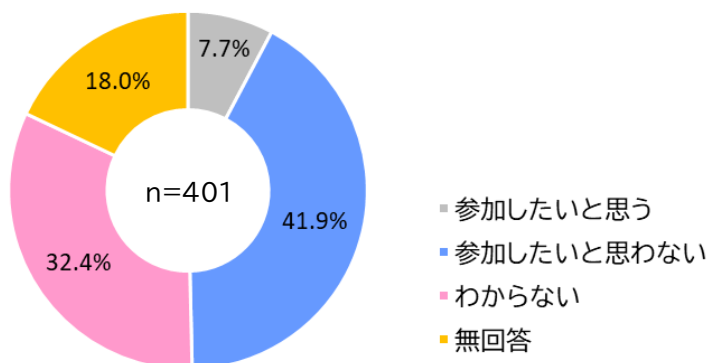
※問 10 で「WEBサイトや路線情報アプリ」と答えなかった人のみ回答(N=401)



・利用しない理由については、「インターネットを利用できない・利用しない」が 51.1%を占めている。

問 12. WEBサイトや路線情報アプリの利用方法について、講習会があれば参加したいと思いますか。

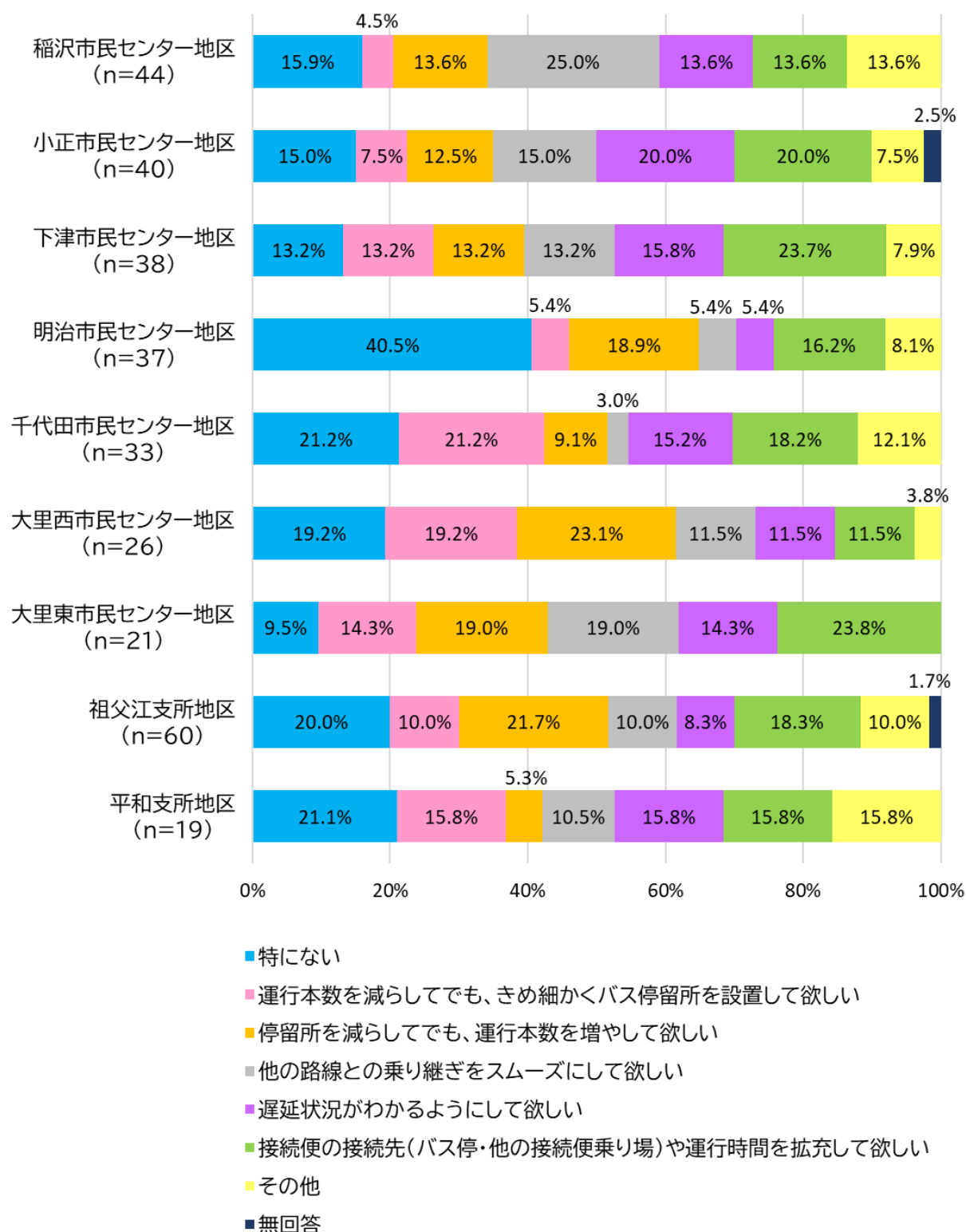
※問 10 で「WEBサイトや路線情報アプリ」と答えなかった人のみ回答(N=401)



・講習会への参加については、「参加したいと思わない」が 41.9%と最も多くなっている。

ークロス集計ー

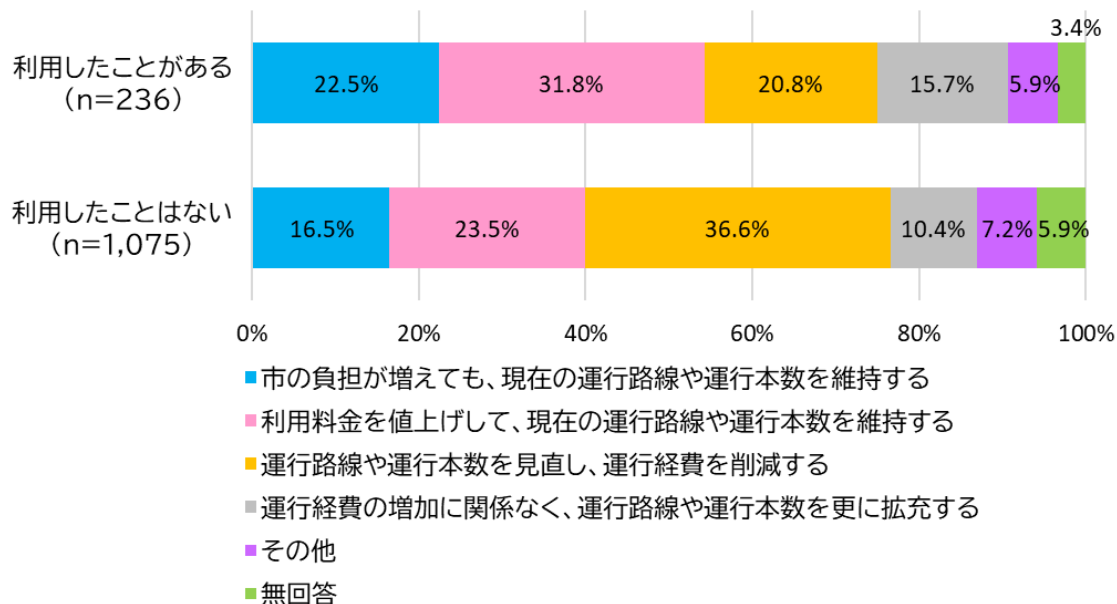
問7(お住まいの地区)と問2(コミュニティバスなどに対して見直して欲しいこと)のクロス集計



・「特にない」の割合が最も高いのは、『明治市民センター地区』で 40.5%、次いで『千代田市民センター地区』が 21.2%、『平和支所地区』が 21.1%となっている。

・「停留所を減らしてでも、運行本数を増やして欲しい」の割合が最も高いのは、『大里西市民センター地区』で 23.1%、次いで『祖父江支所地区』が 21.7%、『大里東市民センター地区』が 19.0%となっている。

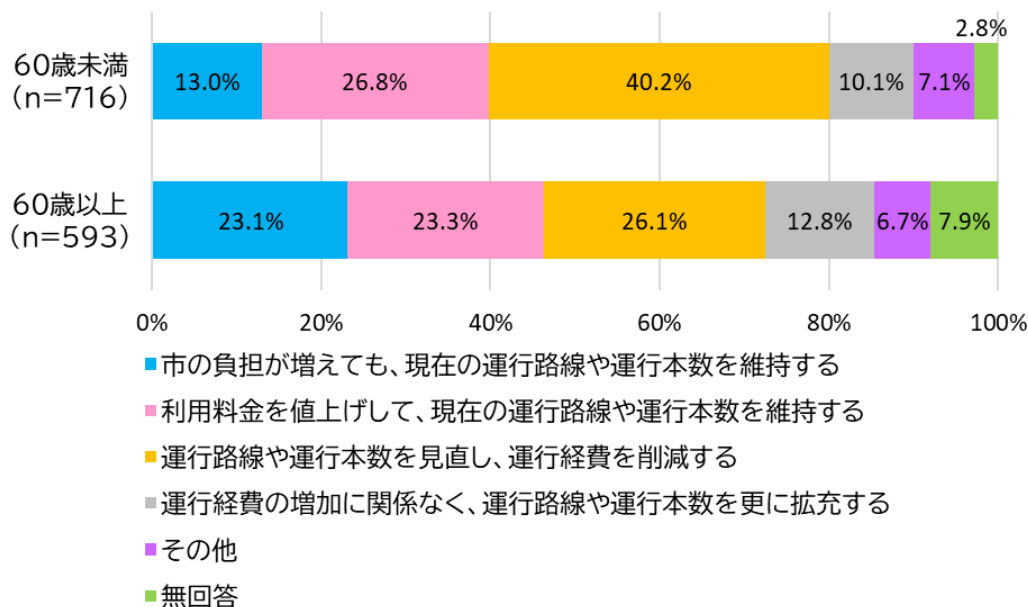
問1(バスの利用状況)と問4(コミュニティバスの運行経費が増えた場合の考え方)のクロス集計



・『利用したことがある』を回答した方の考え方では、「利用料金を値上げして、現在の運行路線や運行本数を維持する」が 31.8%と最も多く、「市の負担が増えても、現在の運行路線や運行本数を維持する」と合わせると 54.3%となっている。

・『利用したことがない』を回答した方の考え方では、「運行路線や運行本数を見直し、運行経費を削減する」が 36.6%と最も多いが、「現在の運行路線や運行本数を維持する」に関する回答の合算は 40.0%となっている。

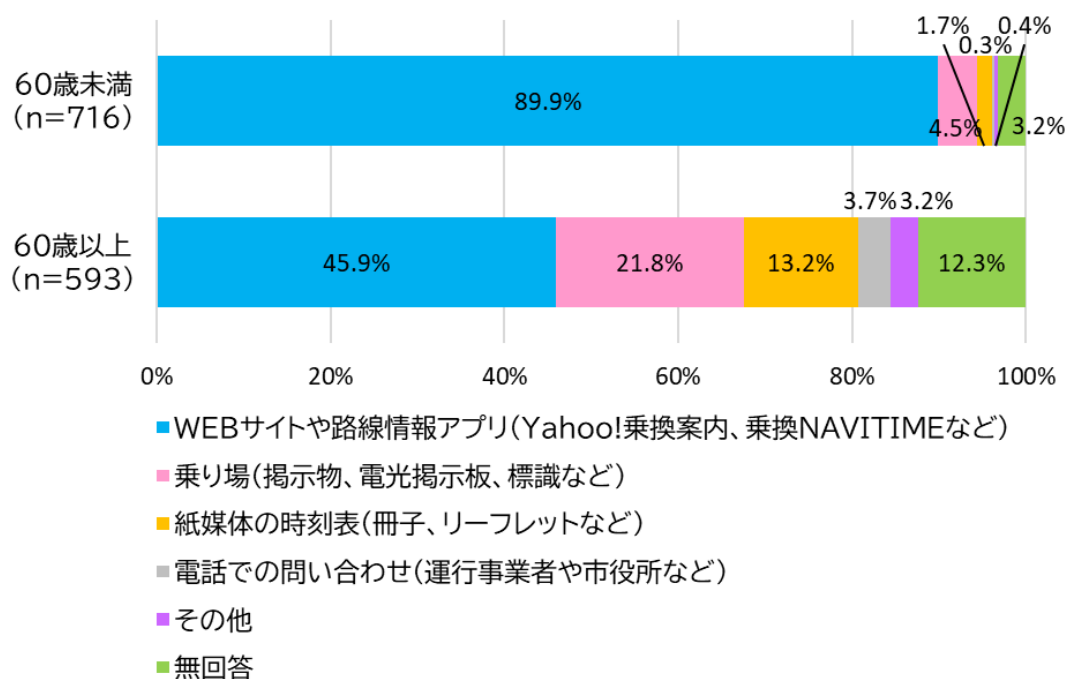
問6(年代)と問4(コミュニティバスの運行経費が増えた場合の考え方)のクロス集計



・『60 歳未満』の考え方は、「運行路線や運行本数を見直し、運行経費を削減する」が 40.2%と最も多く、「現在の運行路線や運行本数を維持する」に関する回答の合算は 39.8%となっている。

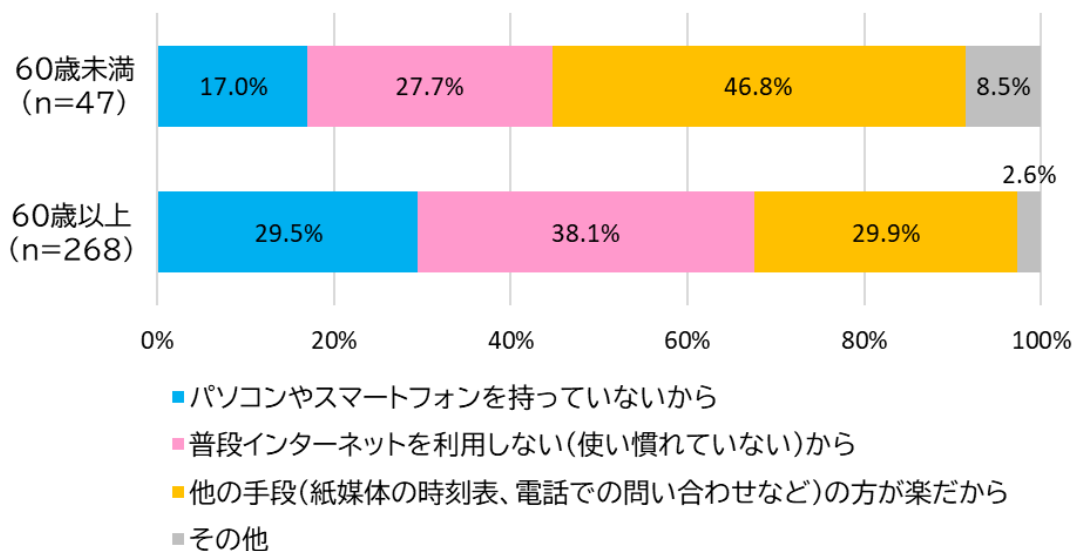
・『60 歳以上』の考え方は、「現在の運行路線や運行本数を維持する」に関する回答の合算が 46.4%となっている。

問6(年代)と問10(公共交通機関を利用する際の路線情報の取得方法)のクロス集計



- ・『60歳未満』の路線情報の取得方法は、「WEBサイトや路線情報アプリ」が89.9%となっている。
- ・『60歳以上』の路線情報の取得方法は、「WEBサイトや路線情報アプリ」が45.9%と最も多く、次いで「乗り場(掲示物、電光掲示板、標識など)」が21.8%、「紙媒体の時刻表(冊子、リーフレットなど)」13.2%となっている。

問6(年代)と問11(WEB サイトや路線情報アプリを利用しない理由)のクロス集計



- ・『60歳未満』が利用しない理由は、「他の手段(紙媒体の時刻表や電話での問い合わせなど)の方が楽だから」が46.8%と最も多くなっている。
- ・『60歳以上』が利用しない理由は、「普段インターネットを利用しない(使い慣れていない)から」が38.1%と最も多くなっている。